通信文化

令和8年9月号

（旧逓信協会雑誌）

巻頭言　宇宙と地上をつなぐ「見えないライフライン」……野口　聡一…（1）

特　集　岡野裕基金記念講演会シリーズ
老いを諦めない～フレイル予防でまちづくり～……小松　仁視…（4）

政治点描㊶　高市流「激務アピール」の黄昏……古賀　攻…（10）
誰かに教えたくなる科学技術の話㉟　世界を震撼させた海難事故……月尾　嘉男…（12）
情報通信トピックス……（16）
ＪＰトピックス……（17）
人生１００年時代をどう生きるか㉘　人生の節々で身辺整理を……鎌田　實…（18）
今から考える老後の対策㉜　相続で本当に大変なこと2……大村大次郎…（20）
千夜一夜食べ物語㉞　東海道五十三次の十七　興津宿の興津鯛……河原　一久…（22）
直球曲球㉑　サッカー「カーボベルデ代表」は、人口五〇万人の代表なのか……稲見　純也…（24）
切手歳時記㊿　禾乃登……内藤　陽介…（25）
歴史散歩㉚　ストレスが謀反の原因⁉・明智光秀……加来　耕三…（26）
日本人ここにあり㉔　日であり風である＝林　滝野　正富汪洋……出久根達郎…（28）
野菜のパワー㉕　色で選ぶ、秋のごちそう～国産パプリカの魅力……香月　りさ…（30）
平成の放送法制をスケッチする㉑　衛星放送政策⑫……植田　記康…（32）
社員からのメッセージ　村岡夏史　井上敬介……（33）
地域おこし㉚　鹿児島県瀬戸内町の取り組み……鎌田　愛人…（34）
わが街わが故郷㉖　千年の歴史と伝説が息づくまち・胎内市（新潟県）……伊藤　了仁…（36）

今月の表紙

初秋の俯瞰撮影

柏原市　宮本　欽司

山口市街を見渡せる東方便山から俯瞰すると。郊外では豊作をイメージする一面の黄金色。ＳＬやまぐち号は峠にさしかかり、軽快な鉄路の音から力強いドラフト音へと変わります。

多くのファンや観光客が見守る中、黒い煙を上げ、懐かしさを誘う汽笛が響き渡り、やがて秋の記憶を刻みながら走り抜けました。

国鉄時代の昭和五十年、定期ダイヤから全国のＳＬが姿を消した後、五十四年八月、山口線に復活して四十七年。現在、Ｄ51（デゴイチ）で運転しているところ、今秋は山口デスティネーションキャンペーンに合わせ、復活当初のＣ57（貴婦人）が、五年ぶりに故障後の修理から蘇ります。

近年、災害や故障による運休が続いていただけに、二両が揃い、レールファンに限らず、観光にも大きな期待が高まっています。

ていしん川柳漫画……（40）
地域情報フラッシュ……（42）
博物館だより……（50）
簡易郵便局を訪ねて㊴　錦宇佐簡易郵便局（山口県岩国市）……藤井　秀昭…（51）
通信文化の普及・発展のために寄附のご協力をお願いします……（52）
協会だより……（53）
クロスワードパズル当選者発表……（53）
ナンバープレース当選者発表……（53）
談話室　宮田和彦　有馬　貢……（54）
令和８年熊本地震で被災された方への会費免除の支援について……（56）
原稿募集……（56）
詰将棋……沼　春雄…（9・57）　詰　碁……小島　高穂…（9・57）
クロスワードパズル……（58）
ナンバープレース……（59）
七月号を読んで……（60）
短歌（森川多佳子選）……（61）
俳句（齋藤朗笛選）……（62）
川柳（安藤紀楽選）……（63）
会員の皆さまへ……（64）
編集後記……（64）

＜グラフ＞
国立公園の魅力
＜口絵＞
博物館だより
　年賀切手になった郷土玩具
千夜一夜食べ物語
　東海道五十三次の十七
　興津宿の興津鯛
わが街わが故郷㉖
　胎内市（新潟県）
読者プレゼント